

第 41 回岩手薬学大会プログラム

大会総司会 塚本 健司
〔武田薬品工業株式会社〕

■開会の挨拶

(9:00～9:10) 大会長 工藤 賢三 (岩手医科大学附属病院)

■一般演題

(9:10～10:00) 座長 和久井 珠里 (岩手医科大学附属
内丸メディカルセンター)

AM-1 骨折リエゾンサービスにおける当院薬剤師の取り組みについて

○長井芽衣、金子芽依、中軽米祥太、佐藤あゆみ、城戸直人、木村周古、大村雅之、
勝馬田康昭

岩手県立中央病院薬剤部

AM-2 介護福祉関係者から薬剤師に求められていること ～介護事業所へのアンケートから見えてきたこと～

○横澤臣紀

気仙薬剤師会高齢者福祉委員会

AM-3 調剤薬局における日専同流健康指導の有用性に関する調査研究

○細田稔男¹、須田庸聖²、川上一止郎³、吉田裕子⁴

¹ホソタ薬局、²ナイス薬局、³ほなみ薬局本店、⁴上野薬局

AM-4 医薬品リスク管理計画（RMP）認知度実態調査の結果

○高野浩史、及川憲太郎、福盛田新、丹代恭太、畑澤昌美、勝馬田康昭

岩手県薬剤師会医療安全推進委員会

(10:00~10:50) 座長 工藤 晋 (盛岡赤十字病院)

AM-5 当院における腎臓病教室と薬剤師の関わり

○村里風太¹、畠山早織¹、菊池克江²、吉川和寛³、旭浩一³、二瓶哲¹、朝賀純一¹、
工藤賢三¹

¹岩手医科大学附属病院薬剤部、²岩手医科大学附属病院血液浄化療法部、

³岩手医科大学医学部 内科学講座 腎・高血圧内科分野

AM-6 ChatGPT によって生成した妊婦・授乳婦における禁忌薬剤の情報

○松浦誠、関本葵、長澤茉依

岩手医科大学薬学部 臨床薬学講座 地域医療薬学分野

AM-7 能登半島地震における日本 DMAT 隊員としての活動

○高圓宰¹、小原俊樹¹、朝賀純一^{1,2}、工藤賢三^{1,2}

¹岩手医科大学附属病院薬剤部

²岩手医科大学薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野

AM-8 NHO 医療班活動における能登半島地震被災者へのお薬手帳の所持及び服薬状況調査

○阿部憲介¹、高橋秀治²、小岩巧³、芳賀啓太⁴、工藤慎也⁵、菅原彩¹、鶴巻実来¹、
佐々木諒太¹、一戸隼平¹、小野幸一⁶、肥田親彦⁷

¹国立病院機構盛岡医療センター薬剤科、²国立病院機構盛岡医療センター看護部、

³栗原市立栗原中央病院看護部、⁴国立病院機構盛岡医療センター事務部、

⁵国立病院機構山形病院薬剤科、⁶国立病院機構宮城病院薬剤部、

⁷盛岡医療センター循環器内科

(10:50~11:40) 座長 大村 雅之 (岩手県立中央病院)

AM-9 保険薬局における関節リウマチ患者に対する薬剤指導の実態調査

○滝村菜子¹、瀬山由佳¹、加藤晴菜¹、高橋宏彰²、朝賀純一²、工藤賢三²

¹岩手医科大学附属病院薬剤部

²岩手医科大学薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野

AM-10 転倒転落患者におけるポリファーマシーの現状と転倒転落リスク因子の検討

○鶴巻実来¹、阿部憲介¹、菅原彩¹、藤井伴弥²、工藤慎也³、佐藤秀子⁴、小野幸一⁵

¹国立病院機構盛岡医療センター薬剤科、

²国立病院機構弘前総合医療センター薬剤部、

³国立病院機構山形病院薬剤科、⁴国立病院機構宮城病院看護部、

⁵国立病院機構宮城病院薬剤科

AM-11 トレーシングレポートを活用した事例報告

○和田真郎¹、小野寺蓮¹、稲垣学人¹、於本崇志¹、朝賀純一^{1,2}、工藤賢三^{1,2}

¹岩手医科大学附属病院薬剤部、²岩手医科大学薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野

AM-12 岩手県における薬剤師確保を目的とした病院薬剤師の業務状況の基礎的調査

○朝賀純一^{1,2,3}、森薫^{1,2}、勝馬田康昭^{1,4}、鈴木弘文^{1,5}、工藤賢三^{1,2,3}

¹岩手県病院薬剤師会、²岩手医科大学附属病院薬剤部、

³岩手医科大学薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学分野、⁴岩手県立中央病院、

⁵盛岡赤十字病院

■特別講演

(12:00~13:00) 座長 工藤 賢三 (岩手医科大学附属病院)

「慢性心不全の薬物治療の大いなる変化

～カテーテル手術の最新情報も添えて～」

岩手医科大学内科学講座循環器内科分野 教授

岩手医科大学附属病院 病院長

森野 禎浩 先生

■閉会の挨拶

(13:00～) 実行委員長 朝賀 純一 (岩手医科大学附属病院)